

< 報道資料 >

平成 14 年 12 月 16 日
東北パイオニア株式会社

東北パイオニア、産官学一体の研究開発に注力 ～ 東北地方での地域密着ネットワーク構築へ ～

東北パイオニア株式会社（本社：山形県天童市 代表取締役：山田昭一）では、これまで東北地方各県の官公庁の技術開発部門、有力大学の理工学部が所有している各種装置および高度な知的ソフトを積極的に取り込み、様々な研究開発を行ってきました。その中で、01 年の組織改正に伴い新たに発足した「部品開発センター」が主軸となって、当社が得意とする精密加工・金型成型の分野を中心に産官学協調路線を積極的に推進し、既にナノ研削を使った金型製造など幾つかの分野において大きな成果を収めています。現在、協力関係を進めている主な産官学機関と主たる内容は以下のとおりです。

< 山形県工業技術センター >

開始時期：02 年 4 月

主な内容：金型・精密加工研究会への参加

【創成放電、放電表面処理、超精密微細加工、などの研究および関連企業見学会、各種講演会の実施 等】

< 宮城県産業技術総合センター >

開始時期：01 年 4 月

主な内容：粉末焼結、ナノ研削、3DCAE 解析 / 樹脂流動解析、構造解析などで相互協力関係の構築と推進

注：当社は宮城県産業技術総合センターが所有する超精密研削機材および研削ソフトを活用し、02 年 4 月に“面粗さ”9.5 ナノという画期的な鏡面仕上げの金型作成に成功しています。

< 秋田県工業技術センター >

開始時期：02 年 7 月

主な内容：*3DCAE 樹脂流動解析

< 東北大学大学院 >

担当部門：厨川助教授 機械系マイクロ・ナノエンジニアリング研究センター長

開始時期：02 年 8 月

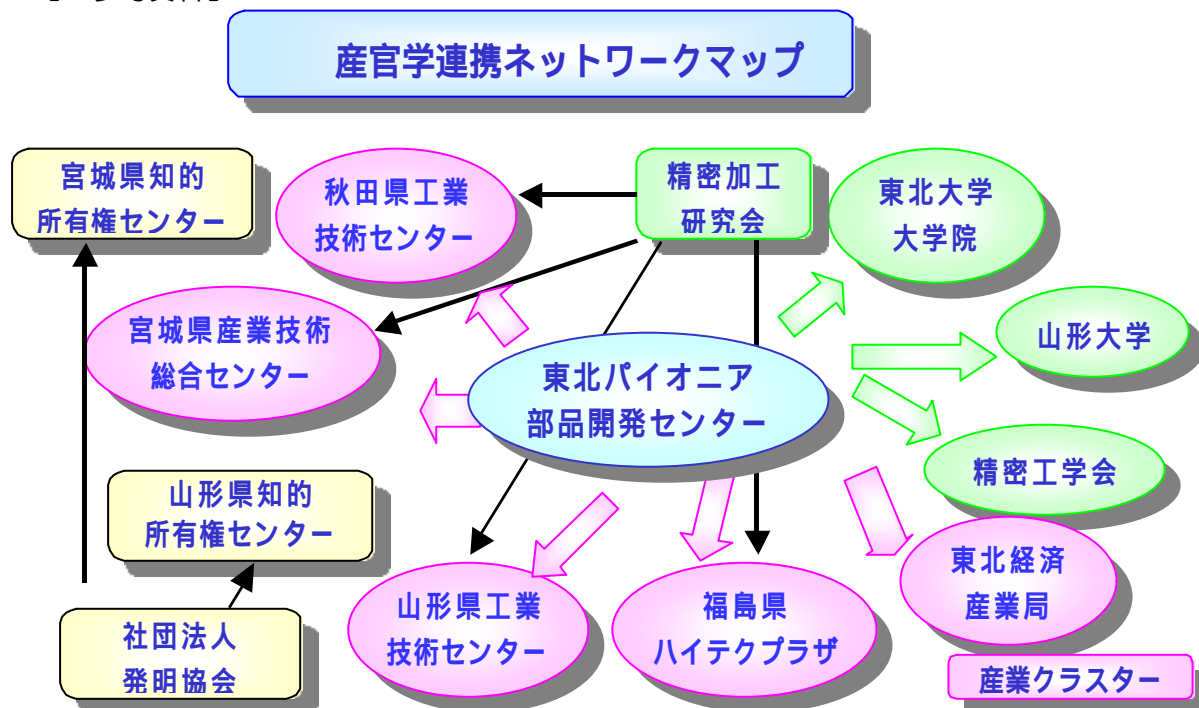
主な内容：自由曲面をターゲットにしたナノ研削の研究に参加

その他の産官学協調の動きとして、有機 EL の分野においては、8月に経済産業省が打ち出し、同省が5年間で約50億円の資金を支援して、電気・素材メーカー12社と山形大学など国立4大学が共同して開発を行う「高効率有機デバイス」の国家プロジェクトに参加をしています。更に今回、山形県主導により有機EL関連産業を県内製造業の新たな基盤にしようとの機運があり、その拠点が当社の米沢工場と山形大学が位置する米沢に置かれる予定です。03年3月には「山形県有機エレクトロニクスシンポジウム」が開催され、国内外にその存在をアピールしていく計画で、現在検討されている「米沢エレクトロニクスバレー構想」にも当社は参加を予定しています。

産官学連携という見地からは、これら以外にも福島県のハイテクプラザや山形大学などが蓄積し研究開発を進めている、高度な精密加工や検査方法及び解析ソフトが数多くあり、当社はこれらの機関とも積極的にコラボレーション体制を構築していく予定です。当社では、産官学の連携を通じて、自社内、山形県内に留まらず広く東北地方の産業基盤の拡大、地域振興に寄与する活動への展開を目指しています。

*3DCAE：設計支援のためのシュミレーションソフトウェア。製品の情報や性能を事前に予測し検討することができる。

【ご参考資料】



【この件に関するお問い合わせ先】

東北パイオニア（株）広報部 中澤・稲葉

TEL：023-654-9198 / FAX：023-654-9526